

令和 8 年度事業計画

1 長岡市の令和 8 年度当初予算

令和 8 年度長岡市当初予算は、『変わるれ！長岡 住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～』をキャッチフレーズとして、一般会計の予算規模は、1,424 億 600 万円（前年度比 2.0%減）、普通建設事業費は、米百俵プレイスミライエ長岡東館や戦災資料館などの大規模事業が前年度でピークを迎えたことによる減となり、157 億 338 万円（前年度比 86 億 9,260 万円、35.6%減）、うち単独事業費は 67 億 2,426 万円（前年度比 40 億 8,800 万円、37.8%減）となった。

2 長岡市に対する要望活動（重点項目）

これまで会員各位のご協力と長岡市のご理解により、着実に改善が図られているが、今後も会員各位の意見や質問を踏まえ、建設業会の発展のため重点的に下記の課題を中心に引き続き長岡市へ積極的な要望活動を実施していく。

- (1) 普通建設事業費の確保について
- (2) 積算期間の見直しについて
- (3) 地域事務所及び包括協定等については地域特性を生かした改善
- (4) 長岡市入札制度の諸条件の改善
 - ・ 入札条件の「平均点」要件について
 - ・ 書類の簡素化・電子化のさらなる推進
 - ・ 当協会会員の優位性の確立

なお、改善の具体的な項目については、委員会等で検討を行うものとする。また、長岡市議会に対しても同様な要望活動を行う。

3 予算運営

収入においては、会費基準表の等級に基づいて会費を徴収する。

支出においては、令和 7 年度の事業を精査するとともに、限られた予算の効率的な執行に努める。

4 協会事業等の取組み

協会は、地域の経済と雇用を支え、災害時の応急復旧や除雪業務を通して地域の安全安心の守り手として、地域の発展及び活性化に重要な役割を担っている。

また、会員の健康確保やワーク・ライフ・バランスの改善などより働きやすい職場環境づくりを行っていくことが求められている。現在、業界で進められている週休二日制に向けた取組み、長時間労働の是正、現場で働く技術者や技能者の処遇を改善する働き方改革などについては、関係する諸団体と連携を図りながら対策を進めることにより人材の確保に努め、諸事業を実施していく。

(1) 創立80周年記念事業

令和8年度は、当協会の創立80年目の節目を迎えるため、その記念事業として記念祝賀会、長岡市への寄贈を実施する。

(2) 災害時の応急対応及び復旧支援事業

長岡市と締結している「災害等に係る緊急を要する工事に関する基本協定書」により、災害応急要請があった場合は「災害時緊急連絡表」により当該地区の担当業者が優先的に迅速に対応する。

(3) 環境美化運動

各地域で開催される「まつり」の清掃活動等に地域の会員が参加する。

① 長岡地域は、「長岡まつり大花火大会」の花火会場早朝清掃

② 小国地域は、「桜まつり」の会場設営及び清掃

③ 栃尾地域は、「とちお遊雪まつり」の会場清掃

(4) 建設業の施策の普及及び調査研究

長岡市公共工事に関する情報交換会や長岡市関係課との意見交換会を実施する。

5 研修事業

入札・契約制度の改正や工事施工上の課題、建設業界の新しい動きに対応するために、長岡市をはじめ関係団体との連携を図り、研修や研究事業を積極的に進め、会員の資質向上を図る。

また、先進地の優れた公共施設や公共工事現場等の視察研修を行い、会員の見聞を広げ技術向上に努める。

6 広報・情報提供

(1) 広報誌の発行

会員に対しては、長岡市等からの制度改正の通知やお知らせなどを随時提供するとともに、協会の活動状況、経営状況を広く周知するため、広報誌「ながおか建設だより」については、5月（新役員体制など）、10月（創立80周年記念祝賀会など）、1月（新年に当たり など）の3回発行する。

(2) ホームページの更新・充実

協会の活動状況や経営状況等、必要な情報を広く伝えるため、ホームページを定期的に更新し、充実を図る。